

## 販売用資料

# 上場インデックスファンド米国株式(NASDAQ100)為替ヘッジあり

愛称: 上場NASDAQ100米国株(為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／株式／ETF／インデックス型

2020年9月

日興アセットマネジメント

# ETFの商品性について



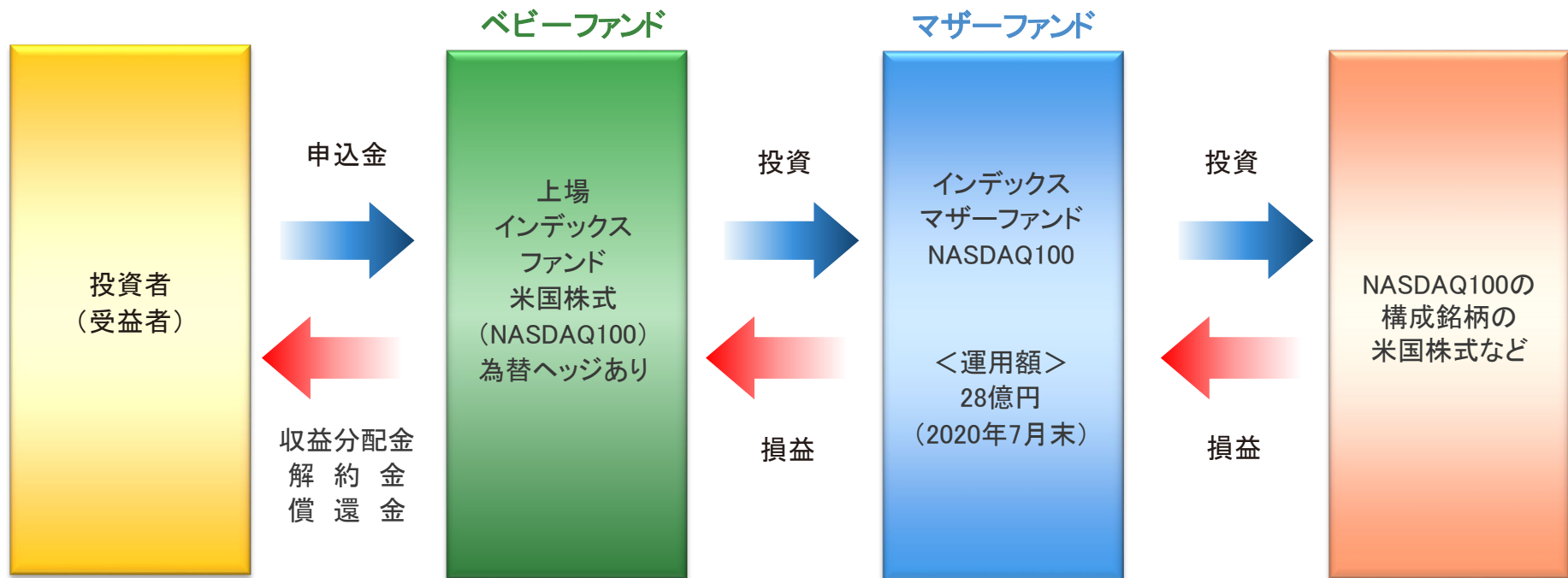
## 本ETFの商品性

■ 本ETFの商品性の概要は、以下の通りです。

項目	内容	補足
銘柄名	上場インデックスファンド米国株式(NASDAQ100)為替ヘッジあり (銘柄コード:2569)	
連動対象指数	NASDAQ100(円建て、円ヘッジ) (以下、本資料において「NASDAQ100指数」を「NASDAQ100」と略 します) Bloombergティッカー: NDXJPYH Index	・指数の概要は7ページ、12ページをご参照ください ・連動対象指数の評価に用いる為替レートと、投資信託の 運用と評価に使う為替レートは異なります
運用方法	ファミリーファンド方式 ※詳しくは4ページをご参照ください	・主として、「インデックスマザーファンドNASDAQ100」 に投資します ・為替ヘッジに係る取引はベビーファンドにて行います
決算日	毎年1月8日、7月8日	
設定/解約	・金銭設定/金銭解約 ・設定/解約ともに、5,000口以上1口単位	上場当初の最低設定/解約金額は約1,000万円
信託財産留保額	ありません	
委託会社	日興アセットマネジメント	
受託会社	三井住友信託銀行	日本カストディ銀行に再信託します
販売会社	ABNアムロクリアリング証券、SMBC日興証券、野村証券	
信託報酬	年率0.275%(税抜0.25%)	
上場取引所	東京証券取引所(以下、「東証」)	
上場日	2020年9月24日(木)	
売買単位	10口	上場当初の最低投資金額は約20,000円
インディカティブNAV (以下、「i-NAV」)	東証の取引時間中に計算・公表	i-NAVの計算方法は、21ページをご参照ください

## ファミリーファンド方式による運用

- 本ETF(ベビーファンドに相当)は、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。  
マザーファンドは主に米国株式に投資し(為替ヘッジなし)、ベビーファンドでは主に為替ヘッジ取引を行います。



## NASDAQ100に関連したETF

## ■ NASDAQ100を対象とする主なETF(ブルベア型含む)

ティッカーコード (ブルームバーグ)	銘柄名	対象指数	レバレッジ 比率	上場	純資産 総額 (億円)	1日平均 売買金額※ (億円)	経費率(%)
QQQ US EQUITY	インベスコ QQQトラスト・シリーズ1	NASDAQ 100 トータルリターン	1	アメリカ	131,349	12,821.5	0.20
TQQQ US EQUITY	プロシェアーズ・ウルトラQQQ	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	+3	アメリカ	7,852	3,643.5	0.95
QLD US EQUITY	プロシェアーズ・ウルトラQQQ	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	+2	アメリカ	3,079	262.8	0.95
SQQQ US EQUITY	プロシェアーズ・ウルトラプロ・ショートQQQ	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	-3	アメリカ	1,331	1,091.5	0.95
PSQ US EQUITY	プロシェアーズ・ショートQQQ	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	-1	アメリカ	645	178.2	0.95
QID US EQUITY	プロシェアーズ・ウルトラショートQQQ	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	-2	アメリカ	306	198.6	0.95
HXQ CN EQUITY	ホライズンズ NASDAQ 100	NASDAQ 100 トータルリターン	1	カナダ	163	1.9	0.28
HQU CN EQUITY	ホライズンズ ベータプロ NASDAQ 100 プルプラス	NASDAQ 100 トータルリターン	+2	カナダ	102	27.8	1.52
HQD CN EQUITY	ホライズンズ ベータプロ NASDAQ 100 ヘアプラス	NASDAQ 100 トータルリターン	-2	カナダ	17	8.1	1.52
CSNDX IM EQUITY	シェアーズ NASDAQ100	NASDAQ 100 ネットトータルリターン	1	欧州	6,344	3.2	0.33
ANX FP EQUITY	アムンディ NASDAQ 100	NASDAQ 100 ネットトータルリターン	1	欧州	1,430	3.4	0.23
EQQQ LN EQUITY	インベスコ EQQQ NASDAQ 100	NASDAQ 100 ネットトータルリターン	1	欧州	4,552	5.9	0.30
NDXEX GR EQUITY	シェアーズ NASDAQ100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	欧州	2,455	2.1	0.31
LYMS GR EQUITY	リクソー NASDAQ 100	NASDAQ 100 ネットトータルリターン	1	欧州	785	0.2	0.30
CBNDX GR EQUITY	コムステージETF NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	欧州	777	1.0	0.25
STXNDQ SJ EQUITY	Satrix NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	南アフリカ	96	0.4	0.48
133690 KS EQUITY	ミリアセット タイガー NASDAQ100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	韓国	284	4.6	0.69
304940 KS EQUITY	サムスン KODEX US NASDAQ100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	韓国	26	1.1	0.57
1545 JP EQUITY	NEXT FUNDS NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	日本	182	8.5	0.45
513100 CH EQUITY	Guotai NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	中国	170	19.1	0.60
159941 CH EQUITY	GF NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	中国	83	5.7	0.80
7522 HK EQUITY	Chinaamc Direxion NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	香港	42	3.5	2.15
2834 HK EQUITY	シェアーズ NASDAQ100	NASDAQ 100 ネットトータルリターン	1	香港	32	0.4	0.28
7261 HK EQUITY	ChinaAMC Direxion NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	香港	22	1.9	2.49
3086 HK EQUITY	BMO NASDAQ 100	NASDAQ 100 ネットトータルリターン(香港ドル建て)	1	香港	21	0.3	0.30
7331 HK EQUITY	ChinaAMC Direxion NASDAQ 100 デイリー -1xインバース	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	-1	香港	15	0.4	1.46
7568 HK EQUITY	CSOP NASDAQ 100 デイリー -2xインバース	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	-2	香港	13	0.9	1.79
7266 HK EQUITY	CSOP NASDAQ 100 デイリー 2xレバレッジ	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	+2	香港	7	0.0	1.99
00662 TT EQUITY	Fubon NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	台湾	44	0.7	0.51
MOSTNDX IN EQUITY	Motilal Oswal NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	インド	193	0.4	0.50
NDQ AU EQUITY	ベータシェアーズ NASDAQ 100	NASDAQ 100 プライ斯拉ターン	1	オーストラリア	755	5.5	0.48
					163,173	18,303	

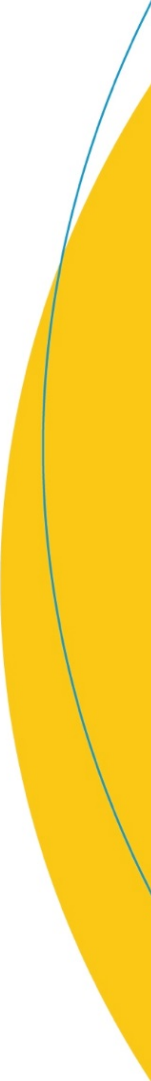
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※「1日平均売買金額」は過去6か月間の総売買金額を1取引日あたりに平均した金額

・データの基準日は2020年7月31日時点

・上記はNASDAQ100に連動するETFの状況を示すものであり、その売買を推奨するものでも、将来の価格の上場または下落を示唆するものでもありません

対象指数について



## NASDAQ100の概要

■ 本ETFの対象指数は、「NASDAQ100の為替ヘッジ指数」です。「NASDAQ100」の概要は以下の通りです。

項目	内容
名称／Bloombergティッカー	NASDAQ100／NDX index(米ドル建て、配当再投資を行わない価格指数)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国のNasdaq市場に上場している企業(金融業を除く)で、時価総額が大きい100社の企業で構成されています</li> <li>・企業が複数の種類株式(議決権制限株式など)を発行している際に、それらの種類株式が指数の適格基準を満たす場合は、指数の組入候補になります</li> <li>・アメリカ預託証券(ADRs=American Depositary Receipts)も組入候補になります</li> <li>・指数値は、組入有価証券の時価総額を一定の規則に従って調整した上で、それを加重平均することで算出します</li> </ul> ※本指数の算出方法は、15～16ページをご参照下さい
構成銘柄数 (2020年7月31日時点)	103銘柄
算出基準日と指数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1985年1月31日を基準日とし、その時点の指数値を<b>125</b>ポイントとして算出されています</li> <li>・現時点の指数値は、<b>10,905.88</b>(2020年7月31日現在)です</li> </ul>
評価通貨	米ドル
計算・公表の頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に1度、構成銘柄の株価終値に基づいて指数の終値が計算されます</li> <li>・リアルタイム指数が、米国の取引時間中に計算されています</li> </ul>
指数の算出要領	Nasdaq作成の「Nasdaq index methodology NASDAQ-100 Index」に記載されています WEBサイト <a href="https://indexes.nasdaq.com/docs/Methodology_NDX.pdf">https://indexes.nasdaq.com/docs/Methodology_NDX.pdf</a>

出所:ブルームバーグ、Nasdaqのデータを元に日興アセットマネジメント作成

## NASDAQ100の主な構成銘柄

ティッカー	銘柄名	終値 (米ドル)	平均売買 金額(億円)	時価総額 (兆円)	株価収益率 PER	業種
AAPL	アップル	425.04	14,882	192	32.3	情報技術
AMZN	アマゾン・ドット・コム	3164.68	13,606	168	121.7	一般消費財・サービス
MSFT	マイクロソフト	205.01	8,406	164	35.3	情報技術
FB	フェイスブック	253.67	5,639	76	31.0	コミュニケーション・サービス
GOOGL	アルファベット クラスA(議決権あり)	1487.95	3,186	107	34.1	コミュニケーション・サービス
GOOG	アルファベット クラスC(議決権なし)	1482.96	2,896	107	-	コミュニケーション・サービス
TSLA	テスラ	1430.76	15,517	28	613.6	一般消費財・サービス
NVDA	エヌビディア	424.59	4,596	28	78.7	情報技術
PYPL	ペイパル・ホールディングス	196.07	1,351	24	86.5	情報技術
NFLX	ネットフリックス	488.88	3,644	23	73.2	コミュニケーション・サービス
ADBE	アドビ	444.32	1,332	23	58.7	情報技術
INTC	インテル	47.73	1,823	21	9.2	情報技術
CSCO	シスコシステムズ	47.10	1,258	21	16.6	情報技術
CMCSA	コムキャスト	42.80	990	21	16.4	コミュニケーション・サービス
PEP	ペプシコ	137.66	829	20	25.5	生活必需品
AMGN	アムジェン	244.67	699	15	-	ヘルスケア
COST	コストコホールセール	325.53	1,060	15	37.9	生活必需品
TMUS	TモバイルUS	107.38	714	14	28.7	コミュニケーション・サービス
AVGO	ブロードコム	316.75	826	13	48.3	情報技術
CHTR	チャーター・コミュニケーションズ	580.00	724	15	50.0	コミュニケーション・サービス
QCOM	クアルコム	105.61	968	13	36.0	情報技術
TXN	テキサス・インスツルメンツ	127.55	745	12	24.5	情報技術
AMD	アドバンスド・マイクロ・デバイセズ(AMD)	77.43	4,229	10	112.7	情報技術
SBUX	スターバックス	76.53	927	9	56.0	一般消費財・サービス
GILD	ギリアド・サイエンシズ	69.53	1,370	9	14.5	ヘルスケア
ISRG	インテュイティブサージカル	685.44	470	8	76.7	ヘルスケア
INTU	インテュイット	306.37	424	8	60.3	情報技術
MDLZ	モンデリーズ・インターナショナル	55.49	428	8	21.6	生活必需品
VRTX	バーテックス・ファーマシューティカルズ	272.00	526	7	40.1	ヘルスケア
BKNG	ブッキング・ホールディングス	1662.13	958	7	28.8	一般消費財・サービス

出所:ブルームバーグのデータを元に日興アセットマネジメント作成

・データの基準日は2020年7月末、円表示の数値は、1米ドル=105.83円で換算

・「平均売買金額」は、過去6か月間の総売買金額を1取引日当たり平均した金額

・「業種」は「世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard)」に基づく

・上記銘柄はNASDAQ100の主な構成銘柄を示したものであり、その売買を推奨するものでも、将来の価格の上場または下落を示唆するものでもありません

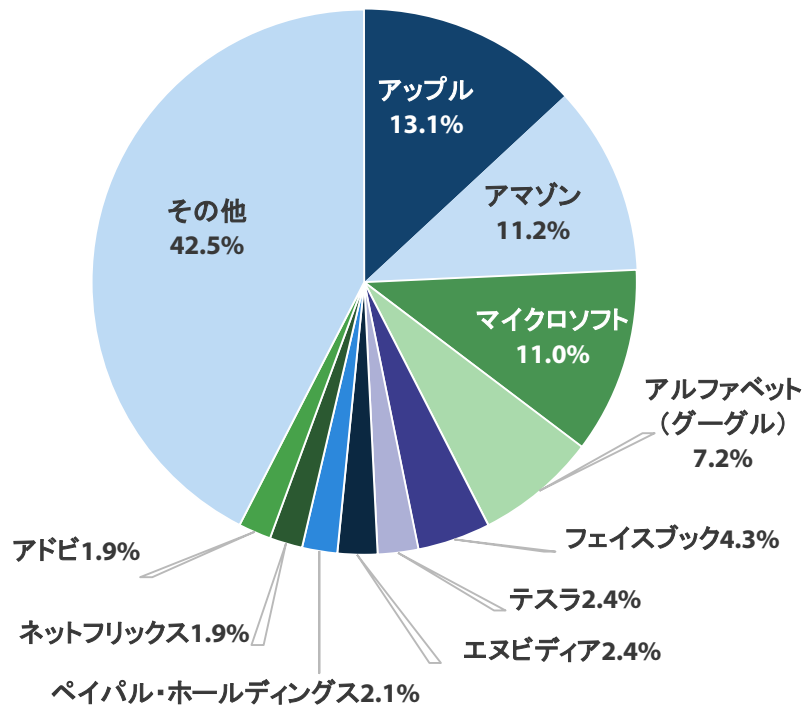
・これらの数字は過去の実績値であり、将来の成果を保証するものではありません



# 米国IT企業大手のFAANGと米国株価指数

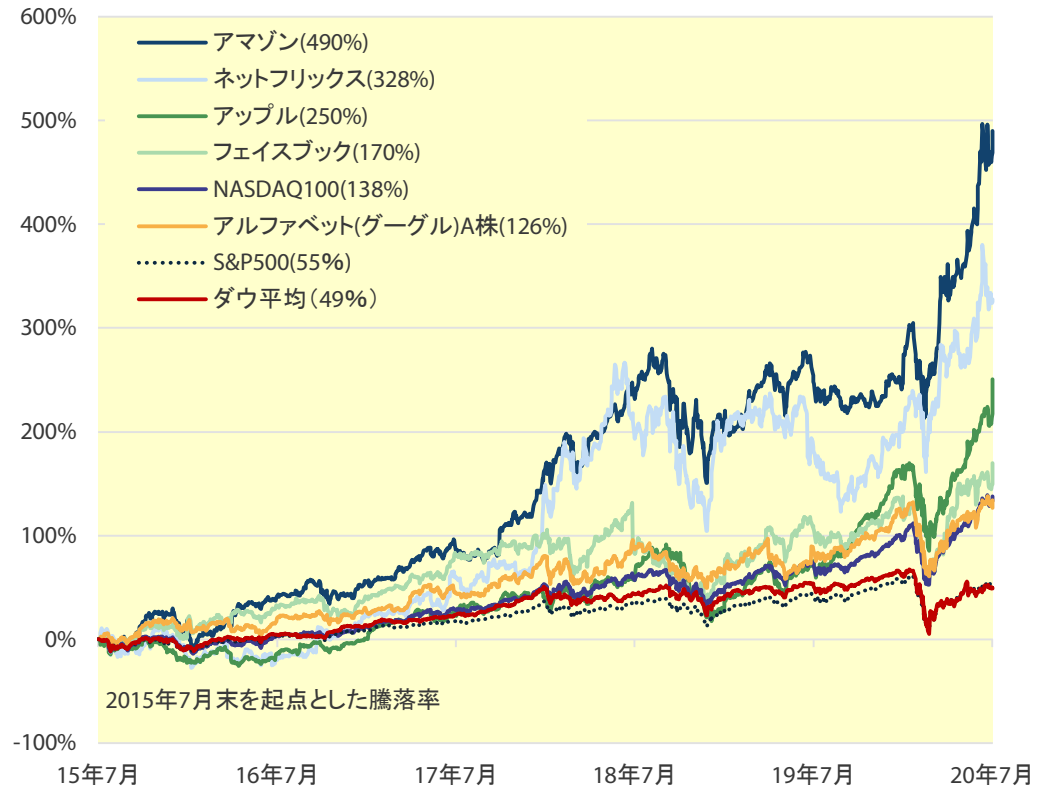
■ FAANGとは米国のIT（情報技術）企業大手の頭文字をつないだ造語で、交流サイト（SNS）のフェイスブック（Facebook）、ネット通販のアマゾン・ドット・コム（Amazon.com）、携帯電話のアップル（Apple）、動画配信のネットフリックス（Netflix）検索エンジンのグーグル（Google、現アルファベット傘下）の5社を指します。

＜NASDAQ100の上位10企業の指数に占める比率（％）＞  
【2020年7月末時点】



＜各指数値とFAANG株価の騰落率（％）の推移＞

【期間：2015年7月末～2020年7月末、日次、カッコ内の数字は2020年7月末時点の騰落率】



出所：ブルームバーグ、Nasdaqのデータを元に日興アセットマネジメント作成

・株価チャートはFAANGと呼ばれる銘柄の株価推移を示したものであり、その売買を推奨するものでも、将来の価格の上場または下落を示唆するものでもありません。

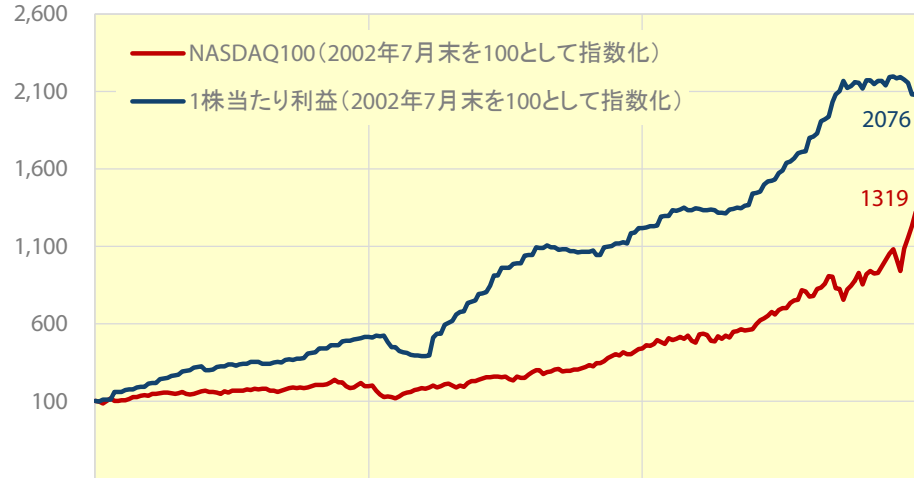
・これらの数字は過去の実績値であり、将来の成果を保証するものではありません。

# NASDAQ100のファンダメンタルズ

■ NASDAQ100は2002年7月末からの18年間で約13倍に上昇しました。指数ベースでみた利益、研究開発費、ROEなども同様に上昇しており、指数値の上昇はそのようなファンダメンタルズを反映していると考えられます。

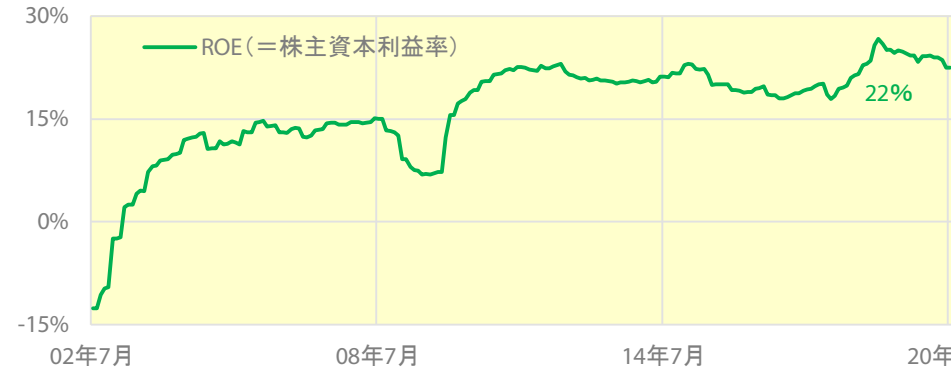
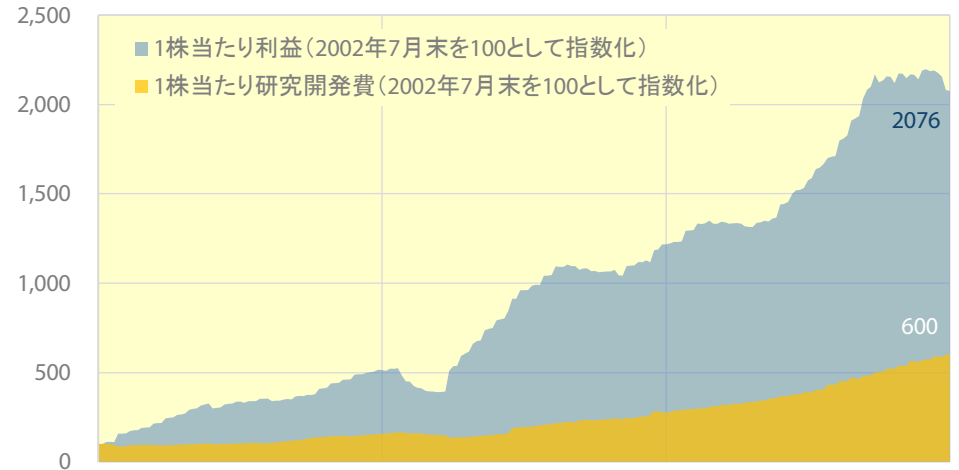
## <NASDAQ100と1株当たり利益、株価収益率(PER)の推移>

【期間:2002年7月末~2020年7月末、月次】



## <NASDAQ100の1株当たりの利益と研究開発費、ROEの推移>

【期間:2002年7月末~2020年7月末、月次】



出所:ブルームバーグのデータを元に日興アセットマネジメント作成

※「1株当たり利益」は指数ベースの過去12か月分の1株利益、「株価収益率(PER、指数ベース)」は各月末のNASDAQ100(価格指数)を「1株利益」で割った値

※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

# NASDAQ100への投資と為替の変動

■ NASDAQ100(配当再投資)に、米ドルまたは円で投資した際のパフォーマンスです。

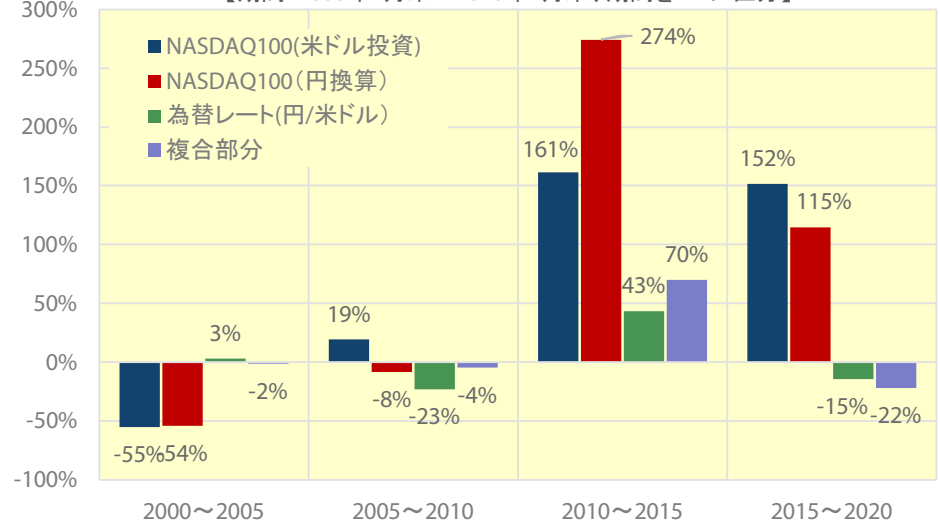
＜各種NASDAQ100と為替レートの推移＞

【期間：2000年7月末～2020年7月末、月次】



＜各種NASDAQ100、為替、複合部分※の5年毎のリターン＞

【期間：2000年7月末～2020年7月末、期間を4つに区分】



※複合部分は、ダウ平均(米ドル投資)と為替レートの各リターンを掛けた合わせた値

◆各種リターンの間には、次の関係が成り立っています

$$\text{NASDAQ100(円投資)} = \text{NASDAQ100(米ドル投資)} + \text{為替レート} + \text{複合部分}$$

- ・円でNASDAQ100に投資する場合、為替レートの変動がそのリターンに大きな影響を及ぼすことが見てとれます。
- ・為替レートの変動の影響を低減させるためには、為替ヘッジ指数への投資が有効と考えられます。

出所：ブルームバーグのデータを元に日興アセットマネジメント作成

※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## 本ETFの対象指数の概要

■ 本ETFの対象指数は、「NASDAQ100の**為替ヘッジ指数**」です。「為替ヘッジ指数」の概要は以下の通りです。

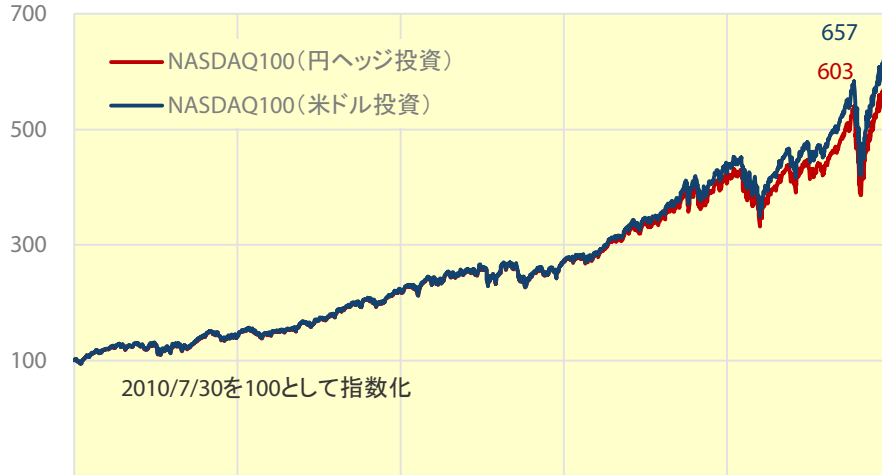
項目	内容
名称／Bloombergティッカー	NASDAQ100(円建て、円ヘッジ)／NDXJPYH Index
為替ヘッジの対象指数	NASDAQ100／NDX(米ドル建て、配当再投資を行わない価格指数)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円で運用する投資者が、NASDAQ100に投資する際に生じる為替変動リスクを低減させること(為替ヘッジ取引)を目的とした指数です</li> <li>・指数の計算における為替ヘッジ取引は、前月末のNASDAQ100の指数値(米ドル)を元本とし、その元本に相当する「1カ月の為替フォワード取引(=米ドルの売り)」を約定、翌月初にその取引を完了させ、その損益を確定させることを継続して行うものです</li> <li>・為替レート(スポット、フォワード)の計算には、ロンドン時間16:00にWMロイターが公表する値を採用します</li> </ul> ※為替ヘッジ指数の算出方法は、19ページをご参照ください
算出開始日と指数値	・2020年7月31日を基準日として算出を開始、 <b>829.96</b> でスタートしました
評価通貨	日本円
計算・公表の頻度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日に1度、NASDAQ100の終値に基づいて計算されます</li> <li>・リアルタイム指数の算出は、現時点では行われていません(2020年7月31日現在)</li> </ul>
為替ヘッジ指数の計算方法	Nasdaq作成の「NASDAQ Hedged Index Methodology July 2020」に記載されています WEBサイト <a href="https://indexes.nasdaqomx.com/docs/methodology_NasdaqHedge.pdf">https://indexes.nasdaqomx.com/docs/methodology_NasdaqHedge.pdf</a>

出所: Nasdaq、ブルームバーグのデータより日興アセットマネジメントが作成

# NASDAQ100為替ヘッジ指数のパフォーマンス

■ NASDAQ100(配当再投資)に、米ドルまたは円ヘッジで投資した際のパフォーマンスです。

＜各種NASDAQ100の推移＞  
【期間：2010/7/30～2020/7/30、日次】



＜米ドルと円の短期金利差と為替ヘッジコストの推移＞  
【期間：2010年7月末～2020年7月末、日次】

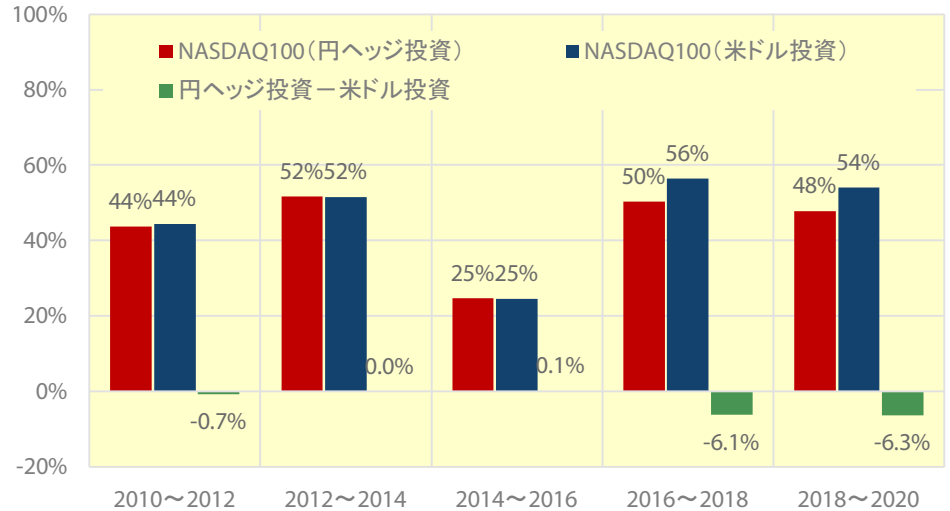


出所：ブルームバーグのデータを元に日興アセットマネジメント作成。

・「短期金利差」は米国および日本の1ヵ月LIBORを用いて算出

・「為替ヘッジコスト」は、米ドル・円のスポットレートと1ヵ月のフォワードレートから算出

＜各種NASDAQ100とその差の2年毎のリターン＞  
【期間：2010/7/30～2020/7/30】



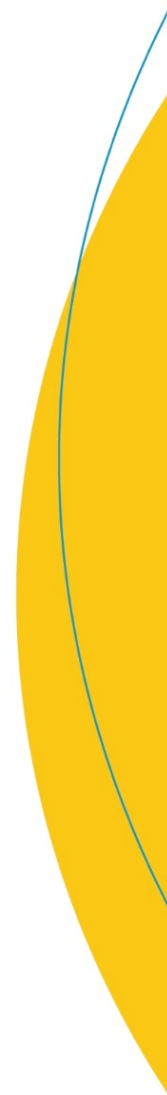
◆各種リターンの間には、次の関係が成り立っています

$$\text{NASDAQ100(円ヘッジ)} = \text{NASDAQ100(米ドル投資)} + \text{リターンの差分}$$

- ・円ヘッジ指数でNASDAQ100に投資する場合、ドル投資と近いリターンが得られていることが分かります。
- ・「リターンの差分」は、NASDAQ100(米ドル投資)と為替レートの各リターンを掛けた値と為替ヘッジによるリターンを合計したものになります。
- ・為替ヘッジによるリターンは、プラスにもマイナスにもなり得ます。米国の金利が日本より高い場合は一般的にマイナスになり(為替ヘッジコスト)、その際は米ドル投資のリターンに負けるケースがあります。
- ・実際のETFにおける運用では、為替ヘッジに際して売買コストが必要となります。

※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## APPENDIX(参考資料)



# NASDAQ100の銘柄入替とリバランス(1)

## ■ NASDAQ100の銘柄入替とリバランス(1)

項目	内容
証券レベルの 適格性基準	<p>○ NASDAQ100の指数構成銘柄として「証券レベル」で満たすべき主な基準は、以下の通りです</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NASDAQ市場に上場している</li> <li>・発行体がFTSEの産業分類で、金融会社に該当しないこと</li> <li>・有価証券の種類としては、普通株、ADR、トラッキング・ストック、受益証券等である</li> <li>・発行体が複数の種類株式を上場しているとき、それらが証券レベルで適格性基準を満たすなら対象に含まれる</li> <li>・時価総額に関して特に制限はないが、流動性に関しては一定の期間内で一日当たり平均20万株の売買が行われている</li> <li>・浮動株に関する制限は特にない</li> </ul>
指数構成銘柄の入替 (年1回、12月に実施)	<p>○ 指数構成銘柄の入替は、以下の手順で行われます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銘柄の変更に關するデータの参照日は、市場データが10月末、発行済株式数が11月末になります</li> <li>・実際の入替は12月の第3金曜日の引け後に行われます</li> <li>・銘柄変更は年1回行われ、参照日時点で、すべての適格な発行体は時価総額によってランク付けされ、以下①～④の順序に基づいて、指数への組み入れが検討されます             <ol style="list-style-type: none"> <li>①時価総額の上位銘柄のうち75社の発行体は、指数に採用されます</li> <li>②参照日時点で既に指数構成銘柄の発行体であり、時価総額の上位100社に入る他の発行体も採用されます</li> <li>③最初の2つの基準を満たす発行体が100社未満の場合、現在の指数構成銘柄の発行体で、今回は101位～125位に位置する企業が、その順位にしたがって組み入れられます</li> <li>④最初の3つの基準を満たす発行体が100社未満の場合、参照日時点で指数構成銘柄の発行体ではないものの、上位100以内に入る企業が、その順位にしたがって組み入れられます</li> </ol> </li> </ul>
リバランス (1月、4月、7月、12月に実施)	<p>○ 一定の制約条件を満たすため(詳細はP16ページをご参照下さい)、年4回のリバランスが行われます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時価総額の比率の計算に使う株価と発行済株式数は、リバランス実施月の前月の最終営業日のデータを用います</li> <li>・実際のリバランスは、1月、4月、7月、12月の第3金曜日の引け後に行われます</li> </ul>

出所: Nasdaqの資料より日興アセットマネジメントが作成

次ページに続きます



## NASDAQ100の銘柄入替とリバランス(2)

## ■ NASDAQ100の銘柄入替とリバランス(2)

項目	内容
制約条件を満たすための調整(リバランス)	<p>○ 一定の制約条件を満たすために、以下の通り、リバランスが行われます</p> <p>1) 発行体レベルの制約条件(これを遵守するために年4回のリバランスが行われます)</p> <p>①第1段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行体レベルの当初の構成比率が24%を超えない場合、最初の構成比率が第1段階のものとして使われます。</li> <li>そうでない場合、当初の構成比率は以下の制約に合わせて調整され、第1段階の構成比率が決まります。</li> </ul> <p>制約：発行体レベルの構成比率は指数の20%を超えてはならない。</p> <p>②第2段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1段階の構成比率が4.5%を超えた発行体の合計の構成比率が指数全体の48%を超えない場合、第1段階の構成比率が最終的に使われます。</li> <li>そうでない場合、第1段階の構成比率は次の制約に合わせて調整され、最終的な構成比率が決まります。</li> </ul> <p>制約：第1段階の構成比率が4.5%を超えた発行体の合計の構成比率は指数全体の40%に設定される</p> <p>2) 銘柄レベルの制約条件(これを遵守するために年1回のリバランスが行われます)</p> <p>①第1段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの銘柄も当初の構成比率が15%を超えない場合は、その構成比率が第一段階の構成比率となります。</li> <li>そうでない場合、当初の構成比率は次の制約に合わせて調整され、第1段階の構成比率が決められます</li> </ul> <p>制約：どの銘柄の構成比率も、指数全体の14%を超えることはできない</p> <p>②第2段階</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時価総額上位5銘柄の合計の構成比率が指数全体の40%未満の場合は、第1段階の構成比率が最終的なものとして使われます。</li> <li>そうでない場合、第1段階の構成比率は次の制約に合わせて調整されて、最終的な構成比率が決まります。</li> </ul> <p>制約：時価総額上位5銘柄の構成比率の合計が38.5%に設定されている</p> <p>制約：時価総額上位5銘柄以外の銘柄については、その最終的な構成比率が4.4%未満か、または時価総額で第5位の銘柄の最終的な構成比率を超えることができない</p>

出所：Nasdaqの資料より日興アセットマネジメントが作成



# 米国株主要3指数の比較

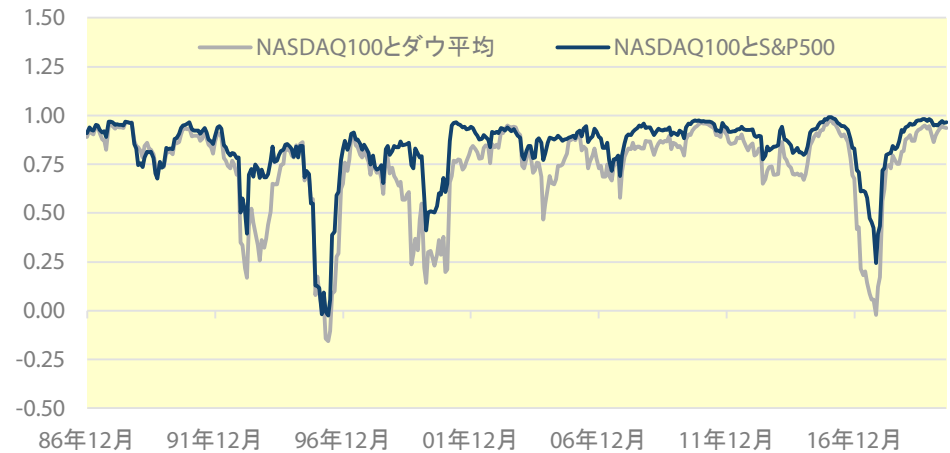
## <各指数値の推移>

【期間：1985年末～2020年7月末、月次】



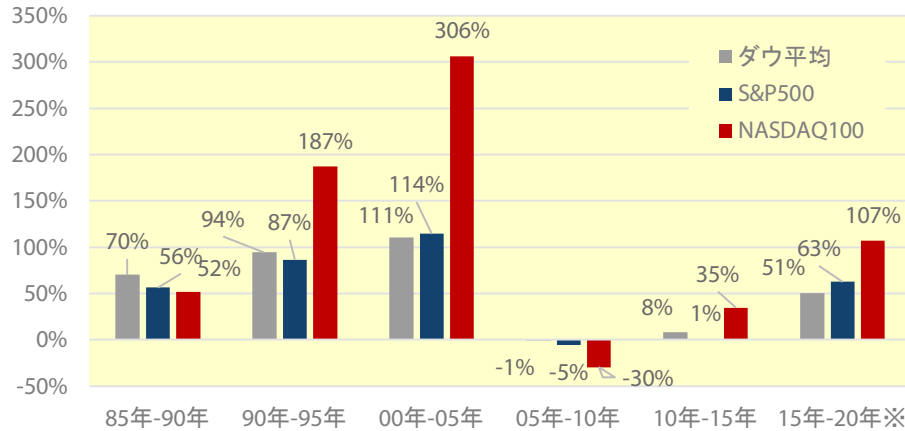
## <月次リターン(12カ月分)の相関係数の推移>

【期間：1986年末～2020年7月末、月次】



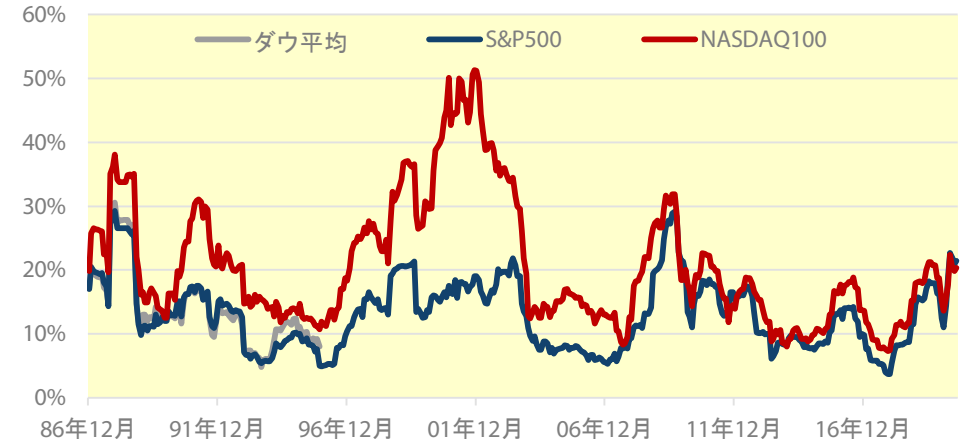
## <5年間のリターンの比較>

【期間：1985年末～2020年7月末、月次】



## <月次リターン(12カ月分)の価格変動率(ボラティリティー)の推移>

【期間：1986年末～2020年7月末、月次】



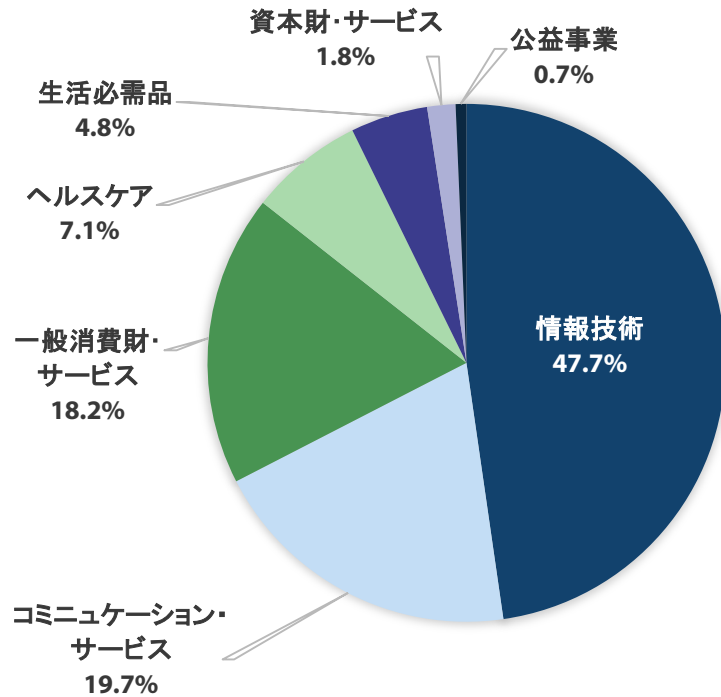
出所：ブルームバーグのデータより日興アセットマネジメントが作成

※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。またグラフおよびデータは指数の比較であり、当社ETFのパフォーマンスを示すものではありません。

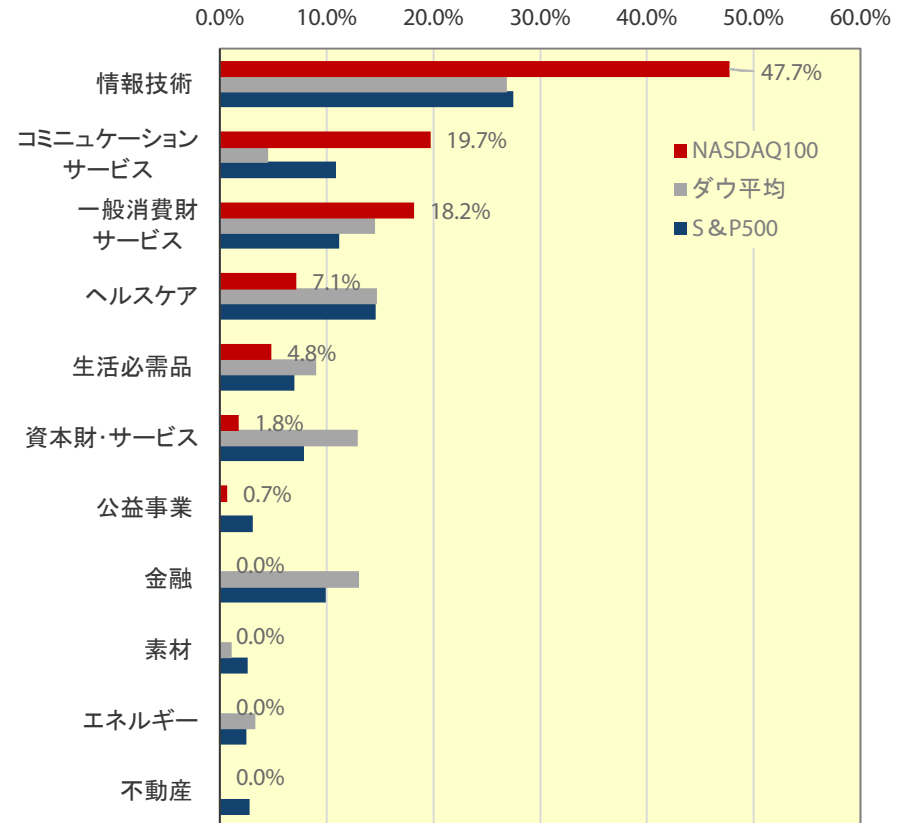
# 米国株主要3指数の比較

## ■ 米国株主要3指数における業種別の時価総額の比率

＜NASDAQ100の業種別の時価総額の比率＞  
【2020年7月末時点】



＜米国株主要3指数の業種別の時価総額の比率＞  
【2020年7月末時点】



出所:ブルームバーグのデータより日興アセットマネジメントが作成

・「業種」は「世界産業分類基準(Global Industry Classification Standard)」に基づくものです。

※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

※ グラフおよびデータは指数の比較であり、当社ETFのパフォーマンスを示すものではありません。

# 為替ヘッジ指数の計算方法

■ 本為替ヘッジ指数(以下、このページでのみ「本指数」といいます。)は、以下の要領にて計算されます。

## 為替ヘッジ指数の概要

- ・米ドル建てのNASDAQ100に円資金で投資することを想定し、そこから生じる為替変動リスクをヘッジした場合のパフォーマンスを表す指数です
- ・本指数は、NASDAQ100に連動する株式ポートフォリオを1ヶ月の為替フォワード取引により継続的にヘッジした場合のリターンとして算出されます  
ただし、あくまでも一定時点のポートフォリオ残高を月次ベースでヘッジしているものであり、為替変動リスクを完全にヘッジしているわけではありません
- ・本指数の指数値の計算・公表は、NASDAQ市場の取引日に行われます
- ・使用する為替レートは、NASDAQ100の終値が発表される営業日において、WMロイターが公表するロンドン時間16時のレートを使います
- ・日付については、各営業日を $t=1,2,3,4,\dots,D$ とします
- ・アルファベット大文字で記された各変数に関して、その添字である“ $t$ ”は当日、“ $m$ ”は先月の最終営業日、“ $m-1$ ”は“ $m$ ”の前営業日を意味します

計算式	計算式の意味	解説
$NDXJPYMH_t = NDXJPYMH_m * \left( \frac{NDX_t / SR_t}{NDX_m / SR_m} + HI_t \right)$	本指数の指数値を表す式	$t$ 日の指数値は、 $m$ 日の指数値を基準として円換算されたNASDAQ100のリターンに為替ヘッジインパクトのリターンを合計した値になります
$HI_t = MAF * \frac{SR_{m-1}}{FR_m} - \frac{SR_{m-1}}{FIR_t}$	為替ヘッジインパクトを表す式	(実際の運用は20ページをご参照下さい)
$FIR_t = SR_t + \left( \frac{D-d}{D} \right) * (FR_t - SR_t)$	為替フォワードレートの推定値を表す式	為替フォワードレートの推定値は、 $t$ 日の為替スポットレートに、直先スプレッドの線型補間を加えた値になります
その他の変数の意味	解説	
MAF : 月次調整項	$NDXJPYMH_{m-1} / NDXJPYMH_m$	
SR $_t$ , SR $_m$ : 1円当たりの米ドルスポットレート(米ドル/円) FR $_t$ , FR $_m$ : 1円当たりの米ドルフォワードレート(米ドル/円)	「1円=〇〇米ドル」の形で表されます(例 SR $_t=0.01$ )	

# 為替予約取引

■ 為替ヘッジのリターンを実現するための取引手法に、「為替予約取引」と呼ばれるものがあります。取引の仕組みを簡単な数値例とイメージ図で説明します。

## ◆為替予約取引の約定と実行

### ① 投資元本の確定

- ・為替ヘッジしたい円建ての投資元本(100万円)を決めます。
- ・円建て投資元本を、その時点の為替スポットレートで米ドル(1万米ドル)に換算します。

### ② 為替予約取引の約定

- ・米ドル建ての投資元本に対し、その時点の為替フォワードレート(1米ドル=97円)で米ドル売り/円買いの予約をします。(期間は1か月)
- ・この予約取引によって、1か月後の受渡日に1万米ドルを支払い(債務)、97万円を受け取る(債権)こととなります
- ・円の投資元本と受け取り予定の円の差額分(3万円)が、為替ヘッジコストとなります。

### ③ 予約の実行

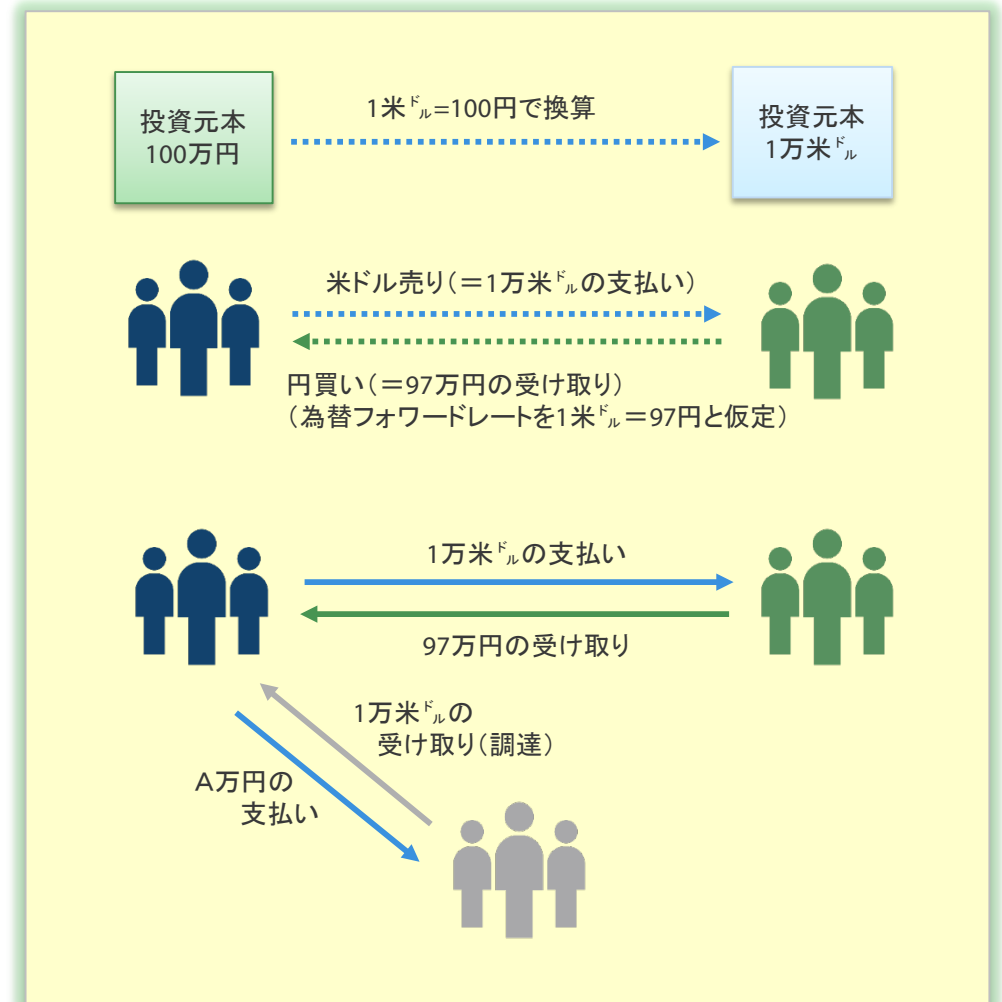
- ・その時点の為替スポットレートで1万米ドルを調達し受け取ります。代わりにA万円を支払います。
- ・別途、予約取引の相手方に1万米ドルを支払い、代わりに97万円を受け取ります。

## ◆為替予約取引に係る実現損益

③の調達時の為替レートによって、為替予約取引に係る実現損益が変わります。

- ・1米ドル=102円(A=102万円) → 5万円の損失(97万円-102万円)
- ・1米ドル=97円(A=97万円) → 損得なし(97万円-97万円)
- ・1米ドル=92円(A=92万円) → 5万円の利益(97万円-92万円)

※この損益は為替予約取引に関する実現損益であり、為替ヘッジコストである3万円は考慮していません。



# インディカティブNAV(i-NAV)の計算

■ i-NAVはETFの現時点の純資産(資産－負債)を発行口数で割った金額です。本ETFの資産、負債の現在価値を計算する方法を以下に示します。**株価指数先物価格と為替スポットレート**がリアルタイムに変わること、i-NAVも変化します。

◆ i-NAVの計算式は、「(A#+B#+C+D+E+F#)÷発行口数」(各構成要素の計算式は下表をご参照下さい)です。

資産/負債	項目記号	内容	イメージ図の番号	建通貨	リアルタイムの現在価値の計算式	i-NAV構成要素
資産	A	組入株式+組入株価指数先物	①+②	米ドル	A × 指数先物変化率※ × リアルタイムの為替スポットレート	A#
資産	B	米ドル・キャッシュ(マージン含む)	③+④	米ドル	B × リアルタイムの為替スポットレート	B#
資産	C	円・キャッシュ	⑤	円	変動なし	C
資産	D	その他(未収入金を含む)	⑥	円	変動なし	D
負債	E	FX Forward 部分	⑦+⑧	円	変動なし	E
負債	F	FX Forward の変動部分	⑨+⑩	米ドル	F × (リアルタイムの為替スポットレート－補正為替スポットレート※)	F#

※指数先物変化率 = リアルタイムの株価指数先物価格 / 前々日の株価指数先物の清算値

※補正為替スポットレート = 前日為替スポットレート + (前日為替スポットレート - 前日為替フォワードレート) × (前日からiNAV算出日までの日数 / 為替フォワード取引決済日までの日数)

◆ A～Fに分類された資産／負債を構成する個別の項目(①～⑩)を、下記のポートフォリオ明細表のイメージ図で示します。

AUM*1	11,434,143,100
Shares*1	9,735,000
NAV Per Share	1,175
Cash (Include Margin)*2	490,851,601
Bond	0
Stock	11,004,957,801
Future	504,299,845
FX Forward	-10,689,159,344
NDF	0
Others*2	⑥10,123,193,196

\*1 May reflect latest creation / redemption □

\*2 May include receivable and payable

Category	Long/Short	ISIN	Ticker	Security Name	Currency	Quantity	Price	Value(Local)	FX Rate	FX Forward Delivery Date	Value(JPY)
Cash	Long			JPY	JPY			292,593,955.00	1.00		⑤292,593,955
Cash	Long			USD	USD			③464,860	109.86		51,069,540
Margin	Long			USD	USD			④1,339,778	109.86		147,188,106
Stock	Long	AN8068571086	SLB US	SCHLUMBERGER LTD	USD	5,045.66	34.42	①173,671	109.86		19,079,560
Stock	Long	VGG1890L1076	CPRI US	CAPRI HOLDINGS LTD	USD	595.57	28.62	①17,045	109.86		1,872,591
Future	Long		ESH0	SP EMINI2003	USD	27.15	3,380.90	②4,590,386	109.86		504,299,845
FX Forward	Long			USD	USD	2,524,664.24	1.00	⑨2,524,664	109.72	20200312	⑦277,006,160
FX Forward	Short			USD	USD	-99,910,400.00	1.00	⑩-99,910,400	109.76	20200305	⑧-10,966,165,504

上記の明細表は「上場インデックスファンド米国株式(S&P500)為替ヘッジありETF」(銘柄コード:2521)(2020年2月18日時点)のものを参考として載せています。本ETFとは同じ資産、負債の構成となります。

出所: 日興AMのETFページ>ETFラインアップ>上場S&P500米国株(為替ヘッジあり)>FUND DATA>ポートフォリオ>「最新のポートフォリオ」

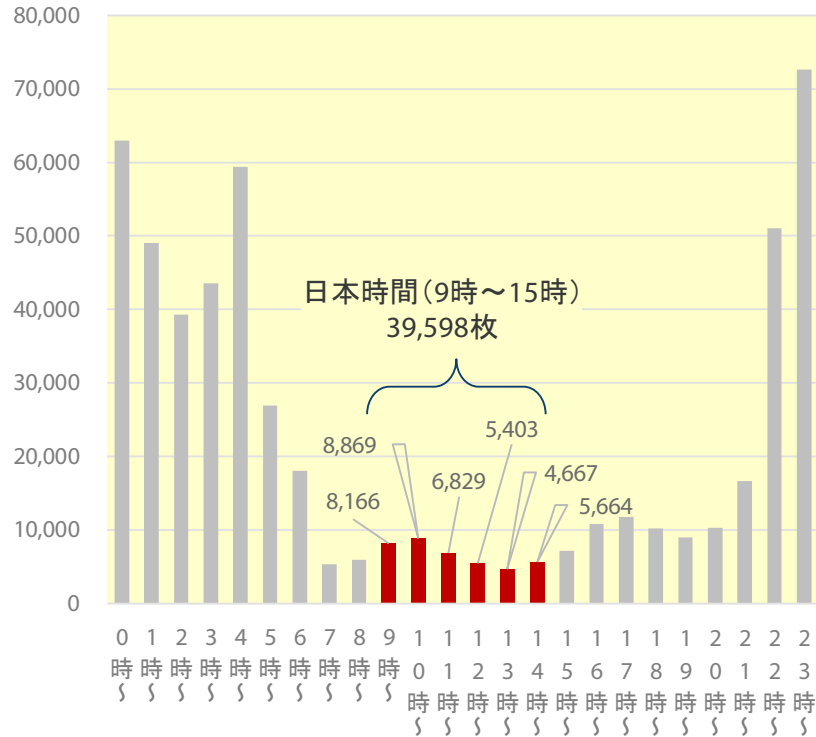
※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

# NASDAQ100先物(EミニNASDAQ100先物)の出来高

- 東証の取引時間中にNASDAQ100の構成銘柄の株価は変動しませんが、NASDAQ100先物(EミニNASDAQ100先物)は活発に取引されています。その先物価格の変化を織り込む形で、本ETFの市場価格が形成される、と考えられます。
- EミニNASDAQ先物の1枚当たりの想定元本は指数値×20米ドルです。仮に指数値が11,000米ドル、為替が1米ドル=100円だと、1,000枚の出来高は220億円の想定元本の取引に相当します。

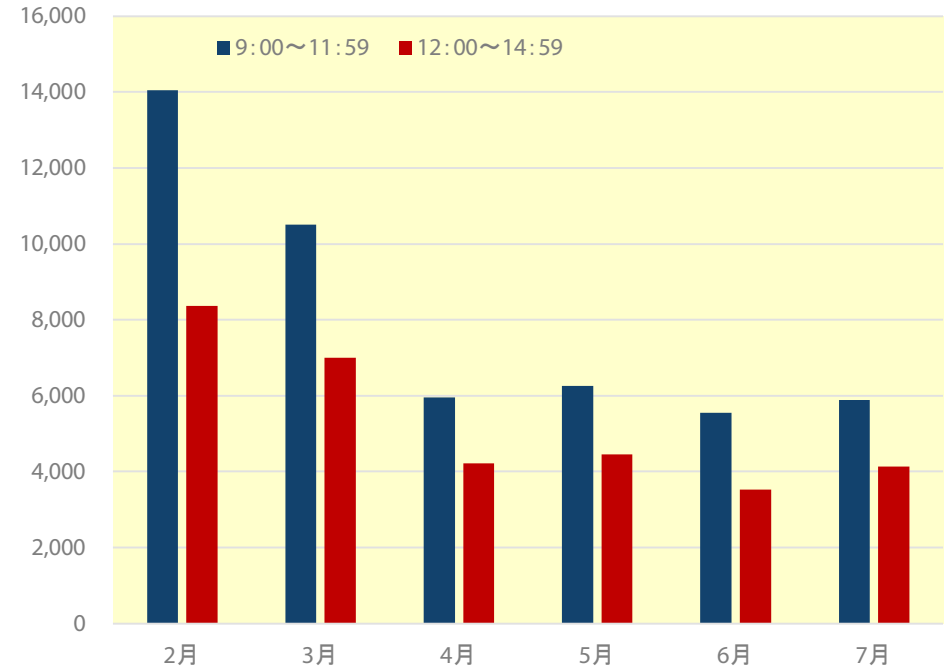
＜日本時間における1時間毎の1日当たり平均出来高(枚数)＞

【期間: 2020年2月～7月の6か月間の全取引を対象とした】



＜日本時間における時間帯別の1日当たり平均出来高(枚数)＞

【期間: 2020年の日本時間9:00～11:59、12:00～14:59の出来高を対象とした】



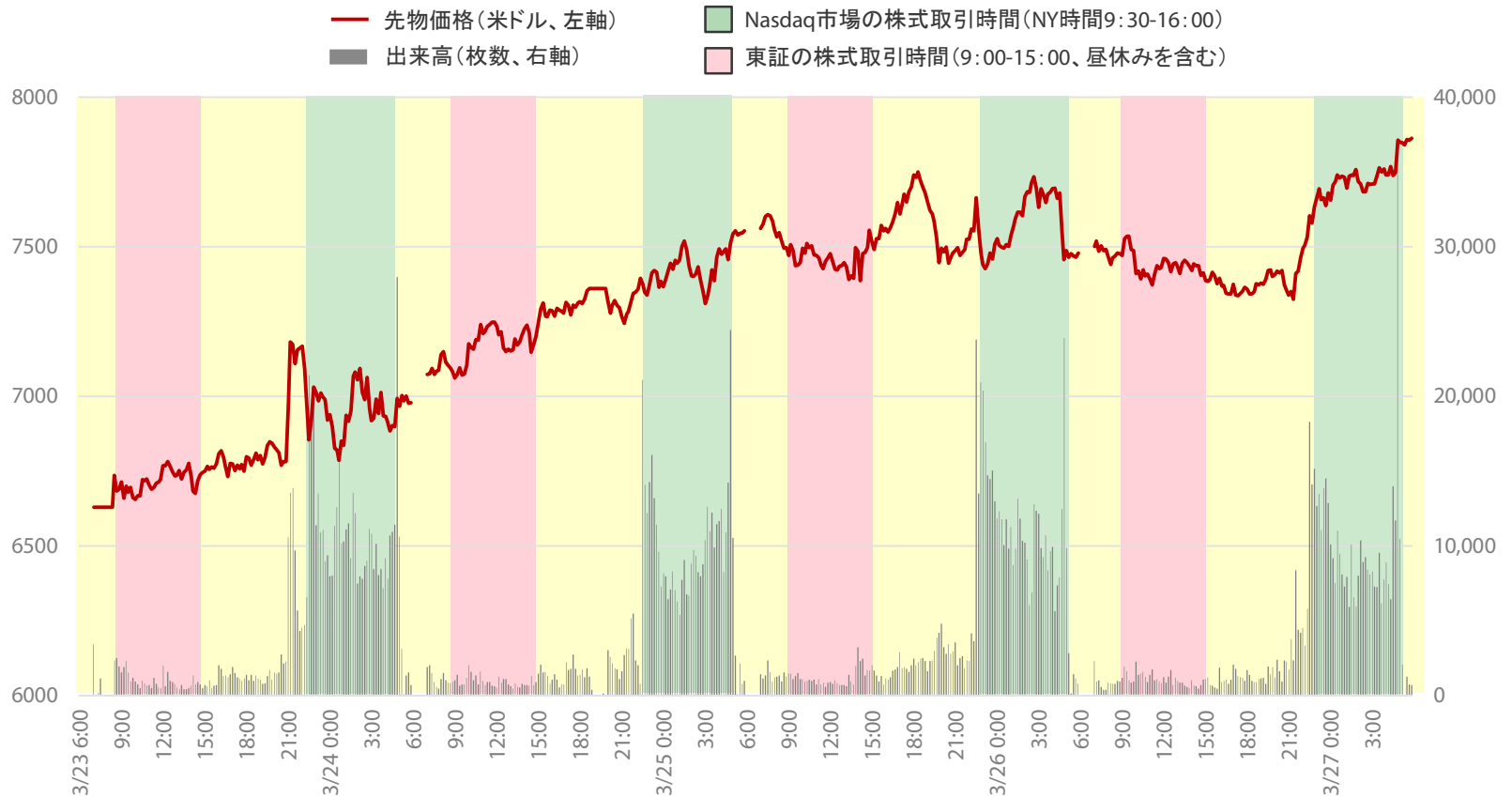
信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成 ※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

# NASDAQ100先物(EM=NASDAQ100先物)の動き

■ NASDAQ100先物(CME)は、24時間体制でグローバルに取引されています。東証の立会内取引の間もその時々イベントやニュースを織り込む形で価格が形成されています。

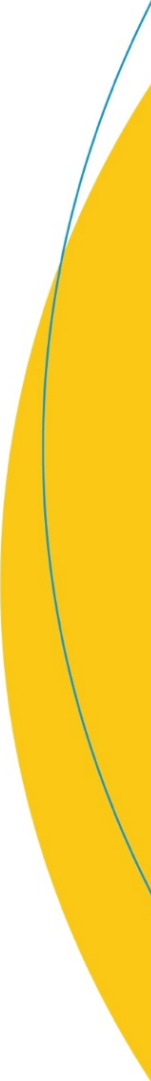
## <NASDAQ100先物(EM=NASDAQ100先物)の価格と出来高>

【期間: 2020/3/23 AM6:00~2020/3/27 AM6:00, 日本時間ベース, 10分足】



出所:ブルームバーグのデータより日興アセットマネジメントが作成  
 ※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ご留意事項





## お申込みメモ①

商品分類	追加型投信／海外／株式／ETF／インデックス型
購入単位	5,000 口以上で販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	<当初申込期間> 1口当たり2,000 円 <継続申込期間> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2020 年9月17日設定)
決算日	毎年1月8日、7月8日
収益分配	年2回、分配方針に基づいて分配を行いません。 ※原則として受託会社が、毎計算期間終了後40 日以内の委託会社の指定する日に、受益者があらかじめ指定した預金口座などに振り込みます。 なお、受益者が取扱会社と別途収益分配金の取扱いに係る契約を締結している場合は、当該契約にしたがい支払われるものとします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、原則として購入の申込みの受付は行いません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 1) 購入申込日がファンドの計算期間終了日の2営業日前(ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、購入申込日が当該計算期間終了日の3営業日前以降の2営業日間)となる場合 2) 購入申込日がナスダック証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日の場合 3) 1)および2)のほか、委託会社が約款に定める運用の基本方針に沿った運用に支障をきたす恐れのあるやむを得ない事情が生じたものと認めたとき
解約申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、原則として換金の申込みの受付は行いません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 1) 解約申込日がファンドの計算期間終了日の3営業日前以降の2営業日間(ただし、計算期間終了日が休業日の場合は、換金申込日が当該計算期間終了日の4営業日前以降の3営業日間)となる場合 2) 換金申込日がナスダック証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日の場合 3) 1)および2)のほか、委託会社が約款に定める運用の基本方針に沿った運用に支障をきたす恐れのあるやむを得ない事情が生じたものと認めたとき

## お申込みメモ②

換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

課税関係 原則として、受益権の売却時、収益分配金の受取り時、解約金および償還金の差益は課税の対象となります。

※確定申告等により、解約時、償還時および売却時の差損(譲渡損失)については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得(申告分離課税を選択したものに限りま)と損益通算が可能です。また、解約時、償還時および売却時の差益(譲渡益)、収益分配金および特定公社債等の利子所得(申告分離課税を選択したものに限りま)については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

※少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)をご利用の場合、20歳未満の居住者などを対象に、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が異なる場合があります。

※法人の場合は異なります。

※上記は2020年2月25日現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 手数料について

## &lt; 申込時、換金時にご負担いただく費用 &gt;

- 購入時手数料： 販売会社が独自に定める額  
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。
- 換金時手数料： 販売会社が独自に定める額  
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
※換金時手数料は、換金時の事務手続きなどに係る対価です。
- 信託財産留保額： ありません。

## &lt; 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 &gt;

- 運用管理費用(信託報酬)： ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.275%(税抜0.25%)以内
- その他費用：
  - 諸費用(目論見書の作成費用など)  
ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額①目論見書などの作成および交付に係る費用、②計理およびこれに付随する業務に係る費用、③決算短信の作成に係る費用(①～③の業務を委託する場合の委託費用を含みます。)、④監査費用、⑤ファンドの上場に係る費用、⑥「NASDAQ100指数(円建て、円ヘッジ)」の標章使用料などは、委託会社が定めた時期に、信託財産から支払われます。  
※監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。
  - 売買委託手数料など  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。  
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 投資リスク①

当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴いません。  
お申込みの際は、当ファンドのリスクを十分に認識・検討し、慎重に投資のご判断を行なっていただく必要があります。

投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、市場取引価格または基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】

・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

### 【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

### 【信用リスク】

・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

### 【為替変動リスク】

・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

## 投資リスク②

### <NASDAQ100指数(円建て、円ヘッジ)と基準価額の主な乖離要因>

当ファンドは、基準価額の変動率をNASDAQ100指数(円建て、円ヘッジ)の変動率に一致させることをめざしますが、次のような要因があるため、同指数と一致した推移をすることをお約束できるものではありません。

- ・NASDAQ100指数(円建て、円ヘッジ)の採用銘柄以外の銘柄に投資をすることがあること、NASDAQ100指数(円建て、円ヘッジ)の採用銘柄の変更や資本異動などによってポートフォリオの調整が行なわれる場合、個別銘柄の売買などにあたりマーケット・インパクトを受ける可能性があること、また、信託報酬、売買委託手数料、監査費用などの費用をファンドが負担すること。
- ・分配原資となる組入銘柄の配当金受け取りと、当ファンドの分配金支払いのタイミングや金額が完全には一致しないこと。
- ・先物取引等のデリバティブ取引を利用した場合、当該取引の値動きとNASDAQ100指数(円建て、円ヘッジ)の採用銘柄の一部または全部の値動きが一致しないこと。

### ◇金融商品取引所で取引される市場価格と基準価額の乖離

当ファンドは東京証券取引所に上場され公に取引されますが、市場価格は、主に当ファンドの需要、当ファンドの運用成果および投資者が代替的な投資と比較して当ファンドが全般的にどの程度魅力的であるか、などの評価に左右されます。したがって、当ファンドの市場価格が、基準価額を下回って取引されるかまたは上回って取引されるかは予測することはできません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### 【その他の留意点】

- 当資料は、投資者の皆様へ「上場インデックスファンド米国株式(NASDAQ100)為替ヘッジあり」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

### 【リスクの管理体制】

- 運用状況の評価・分析および運用リスク管理、ならびに法令などの遵守状況のモニタリングについては、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当しています。
- 上記部門はリスク管理/コンプライアンス関連の委員会へ報告/提案を行なうと共に、必要に応じて運用部門に改善案策定の指示などを行ない、適切な運用体制を維持できるように努めています。

※上記体制は2020年6月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

# 指数の著作権などについて

## 「NASDAQ100指数」の著作権などについて

当ファンドは、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Index® の一般的な株式市況への追従可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。株式会社と日興アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq® およびNASDAQ-100 Index® の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、日興アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なうNASDAQ-100 Index® の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 Index® の決定、構築および計算に関し、日興アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、NASDAQ-100 Index® とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Index® またはそれに含まれるデータの利用により、日興アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNASDAQ-100 Index® またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

## 関係法人

委託会社  
受託会社  
販売会社

日興アセットマネジメント株式会社  
三井住友信託銀行株式会社  
販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
[ホームページ] [www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)  
[コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)



**nikko am**

[www.nikkoam.com](http://www.nikkoam.com)